

脱炭素社会の実現に向けた環境リテラシーの向上と グループシナジーを生かしたソリューション展開

【申請No.③】

北海道リース株式会社

1. 取組の概要

脱炭素社会の実現に向け ESG リースの実績を増やすため、営業担当者の環境リテラシーの向上及び北海道銀行グループとの連携を生かしたソリューション展開を行なった。

2. 取組の目的

ESG リースの取組みについて営業担当者によって実績の偏りがあったため、根本的に意識改革を行う必要があった。外部企業（北海道銀行、保険会社）に依頼して SDGs の勉強会を年 2 回実施することで、環境リテラシーの向上と脱炭素設備の取組意義を再認識した。

また弊社から北海道銀行の渉外担当者向けに ESG リースに関する勉強会を実施し、脱炭素社会に向けた取組みについて共通認識を持つことが出来た。

その結果、環境リテラシーの向上のほか、営業担当者の評価において、補助金活用による評価ポイントを付与することで積極的な ESG リースの提案を促進した。



3. 取組のポイント

上記取組みの結果、令和 5 年度の ESG リースの取組実績は 34 件と前年度 20 件と比べ +14 件、前年比 170%と大きく実績を伸ばすことが出来た。また課題していた営業担当者による実績の偏りについて、令和 4 年度の ESG 取組機種は「医療機器」、「空調機器」、「冷凍機」、「建設機械」の 4 機種に留まっていたが、令和 5 年度は「医療機器」、「空調機器」、「分析機器」、「冷蔵庫」、「ボイラー」、「冷凍機」、「工作機械」の 7 機種と取組機種についても大きく拡大。幅広い分野で ESG リースを展開することが出来た。

営業担当者の ESG リースに関する提案能力は全社的に向上しており、北海道銀行と連携して地域の脱炭素化に向けた取組みが出来ている。

4. 今後の展望

ESG リースの取組促進に加え、北海道銀行を主幹事とし、北陸銀行、北海道内 17 信用金庫、3 信用組合の計 22 金融機関が参加した融資団から「サステナビリティ・リンク・ローン」として 30 億円の調達を実施。SPT の設定では当社の強みであるオートリースと環境目標を掛け合わせることで中長期的な視点で環境への配慮が高まった営業活動を実現する。

以上